

令和4年度の取り組み

専門家による空き家の無料相談会の開催
NPO法人所属の専門家による空き家の無料相談会を開催(毎月第1木曜日)

空き家対策ナビゲーター(修了生の活動支援)
活動報告会 ナビゲーターが、毎月1回集まり、活動報告会を実施
地域セミナー・気軽な相談会 多田グリーンハイツ、清和台で開催
空き家調査アプリ
・空き家調査アプリの開発の功績が認められ、国土交通大臣賞を受賞
空き家マッチング制度
・市場流通していない空き家を市民協働で掘り起こし、
流通又は活用を促進(ナビゲーターに協力依頼)
・専門家等の協力を得ながら、空き家と活用希望者
とをマッチング(空き家流通対策会議を開催)
・市は、空き家の所有者らに、制度案内リーフレット送付(登録促進)
空き家の流通促進補助金(令和4年度創設)
・空き家流通対策会議で、流通を促進するために必要となる費用について計上
【例】 流通を促進するために必要な測量、登記、資料請求等
空き家バンク設置(令和4年度創設)
・空き家マッチング制度に登録した物件のうち、流通困難な物件を掲載
空き家活用リフォーム助成制度
(1)若年・子育て世帯型(工事費の1/2、上限100万円)
若年・子育て世帯が自己居住用に空き家を取得する場合に改修費を補助
(2)地域交流拠点型(工事費の1/2、上限200万円)
地域交流拠点として戸建ての空き家を活用する場合に改修費を補助
(3)事業所型(工事費の1/2、上限100万円)
住宅を店舗として活用する場合に改修費を補助
住宅金融支援機構及び池田泉州銀行との連携
・市、住宅金融支援機構、池田泉州銀行で意見交換会を実施
・令和3年度に協働で制作した空き家対策リーフレットを配布



耐震建替工事費補助(定額100万円)
耐震診断の結果、安全性が低い旧耐震基準の住宅の建替えに対して補助
空き家除却等補助金(定額40万円)
密集地や袋地等に建つなど、再建築困難な危険空き家の除却費用を補助

令和5年度の取り組み方針(案)

継続 専門家による空き家の無料相談会の開催

新規 川西市空き家対策計画の改定
・現行計画期間が令和5年度末で終了となるため、令和5年度中に改定
・市民ニーズや社会情勢の変化を反映(例:テレワークの普及、二拠点生活)
・空き家対策の目標(KGI、KPI)を明確化
・分譲マンションの建物の老朽化、居住者の高齢化が進む現状を踏まえ、
計画の中に、分譲マンション対策を盛り込む

継続 空き家対策ナビゲーター <修了生の活動支援>
地域との連携
空き家データを自治会と共有し、ナビゲーターと連携しながら地域の見守り・
防犯活動で活用し、空き家データを適宜更新
ナビゲーター活動報告会
ナビゲーターが、毎月1~2回集まり、活動報告会を実施
地域セミナー・気軽な相談会
自治会と連携しながら、セミナー・相談会を企画・実施
住民の意識啓発を行い、空き家の発生を抑制
空き家調査アプリ
・空き家調査アプリを使って、空き家データを適宜更新
・空き家データを蓄積・更新し、流通対策に活用(マッチング制度と連動)
空き家マッチング制度
・空き家実態調査等で掘り起こした空き家をもとに、市が所有者を調べ、ダイレク
トメールを発送して、マッチング制度の活用を促進
空き家の流通促進補助金
・空き家流通対策会議で、流通を促進するために必要となる費用を助成
空き家バンク設置
・空き家マッチング制度に登録した物件のうち、流通困難な物件を掲載
空き家活用リフォーム助成制度
・引き続き、空き家を自己居住用などに改修する際の改修費を補助
住宅金融支援機構及び池田泉州銀行との連携
・空き家対策のイベントを実施



継続 耐震建替工事費補助(定額100万円)
空き家除却等補助金(定額40万円)

意識啓発

予防

管理

地域支援

人材発掘

担い手育成

人材養成

空き家活用支援

売買

活用

賃貸

空き家除却支援

建替

除却